

地域医療連携だより

平成29年
7月号
第30号



診療科紹介 整形外科

整形外科では、運動器の病気や外傷（けが）を扱っています。背骨・上肢・下肢の骨・関節や筋肉・靭帯ならびに脊髄・末梢神経を対象にしています。人口の高齢化に伴い、運動器の障害（骨粗鬆症やロコモティブ症候群など）が大きな問題となっています。一方、東京オリンピックを控えスポーツの低年齢化に伴い、子供たちの運動器の外傷・障害も増加しているのが現状です。また、交通事故などの外傷、手の外傷、高齢者の骨折なども依然として増加傾向であるため、幅広い治療を行っています。

整形外科では急性期医療を中心に行っており、早期手術、早期リハビリテーションを心がけています。平成29年6月からは地域包括ケア病棟の試行を開始しています。

大腿骨頸部骨折については以前から実施している地域連携クリニカルパスを連携病院とともに運用して治療の標準化、効率化を図っています。

ご紹介いただいた多くの紹介患者様に対しても逆紹介を実施しており、地域の先生方と連携を取り最善の治療を目指しています。



整形外科スタッフ

役職	医師名	専門領域
医長	東野 恒作	脊椎外科、リハビリテーション、関節リウマチ
医長	三宅 亮二	整形外科一般
副医長	杉浦 宏祐	整形外科一般
非常勤医師	西良 浩一 徳島大学 教授	脊椎外科（脊椎脊髄外来）
非常勤医師	長町 顕弘 徳島大学 特任教授	脊椎外科（脊椎脊髄外来）
非常勤医師	殿谷 一朗 徳島大学 特任講師	足の外科（足の外科外来）
非常勤医師	眞鍋 裕昭 徳島大学 医員	整形外科一般、脊椎外科

外来診療 ●●● 月曜日から金曜日、午前中に外来診療しています。

脊椎・脊髄外来 ●●● 第1、3木曜日に徳島大学整形外科教授による脊椎専門外来を行っています。

足の外科外来 ●●● 第2、4火曜日に徳島大学整形外科講師による足の外科外来を行っています。

◆脊椎疾患

腰部脊柱管狭窄症、腰椎椎間板ヘルニア、頸椎症性脊髄症、頸椎後縦靱帯骨化症などの変性疾患、炎症、腫瘍の治療を行っています。診断は、理学所見に加えてMRI、CTなど画像診断を使い行います。治療は、保存的治療を原則とし、薬物療法に加えて理学療法や各種ブロックを行います。保存療法が無効な場合には手術療法を選択します。手術方法として、腰椎では腰椎椎弓切除術、腰椎固定術、ヘルニア摘出手術、頸椎では椎弓形成術、頸椎固定術を顕微鏡、内視鏡を使用し行っています。特に、PED（経皮的内視鏡下腰椎椎間板摘出術）およびBKP（圧迫骨折に対する椎体形成術）などの低侵襲手術を積極的に行っています。

◆PED（腰椎椎間板ヘルニアに対する経皮的内視鏡下ヘルニア摘出術）

従来行われてきた一般的な腰椎椎間板ヘルニア摘出術は、腰部を2～6cm程度切開するため、リハビリテーションを含め7～14日程度の入院を必要としました。しかしPEDは局所麻酔下に約8mmと非常に小さな切開で手術が行われるため、短期間の入院で治療ができ早期の社会復帰が可能になっています。治療には高周波メスや専用の内視鏡を使用し安全に行うことが可能です。健康保険の適用となっています。



局所麻酔下での低侵襲手術

◆BKP（圧迫骨折に対する椎体形成術）

高齢者の背骨は骨粗鬆症のため弱くなっており、軽微な外傷で圧迫骨折が発生します。従来は長期間の臥床やコルセット治療を行っていましたが、最近では特殊な手術器具と医療用セメントを用いて体の負担を少なく圧迫骨折を治療することが可能になりました。健康保険の適用となっています。

◆足の疾患

変形性足関節症などの変性疾患や外反母趾、扁平足、外傷、麻痺性疾患などによる足部変形や足関節靱帯損傷や腓骨筋腱脱臼、疲労骨折などのスポーツ障害の治療を行っています。

各疾患によつての症状、進行状態によつて、手術療法および靴やインソールを含めた装具による保存療法を行っています。

手術は関節固定術や外反母趾矯正術、スポーツ障害に対する手術治療まで様々な手術を行っています。

また、症例によつては関節鏡を用いた低侵襲な手術を積極的に行っています。

◆骨折、外傷

脊柱、四肢の骨折、外傷一般を扱っています。特に近年、高齢化に伴い、高齢者の比較的軽微な外力による骨折（脊椎圧迫骨折、大腿骨頸部骨折、橈骨遠位端骨折、上腕骨近位端骨折など）を多く扱っています。

◆骨粗鬆症

骨粗鬆症は女性に多く発生し、特に閉経後の女性にしばしばみられますが、高齢になると男性にも発症してきます。腰の痛みがその主な症状ですが、ちょっとしたことで骨折してしまった場合も骨粗鬆症です。当科では最新の骨密度測定装置にて計測し、骨粗鬆症の診断を行っています。最近では、骨粗鬆症になっても骨を強くすることができる薬剤があります。

◆関節リウマチ

関節リウマチはからだの多くの関節に炎症が起こり、関節が腫脹する病気です。長期間にわたって進行すると関節の変形と機能障害が起こります。男性より女性に約3倍多く認められます。近年、治療効果が高い薬剤が多く開発され、関節リウマチの予後は改善しつつあります。また、薬剤の効果が不十分で、関節変形の強くなった場合には、手術療法を選択します。

◆スポーツ外傷

膝関節靱帯損傷、半月板損傷、足関節靱帯損傷などのスポーツ障害・外傷の保存的治療・手術治療・リハビリテーションなどを行っています。手術治療では膝関節靱帯・半月板損傷など負担が少ない関節鏡での手術で対応しています。

◆手外科

上肢の外傷の他に、手根管症候群、腱鞘炎（ばね指、ドケルバン氏病）、肘部管症候群など絞扼性障害のほか、関節リウマチの手の変形などに対しても保存療法から手術療法を行っています。

◆検査設備

MRI、CT、X線、骨シンチ、足尖脈波、上肢・下肢血流測定、骨密度測定、神経伝導速度などがあります。

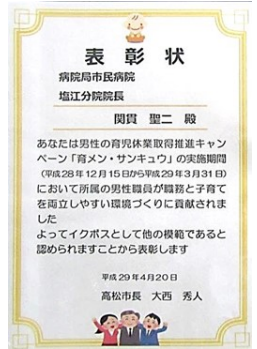
イクボス奨励賞を受賞しました

塩江分院 医療局

高松市では、「女性活躍推進法」に基づき、「男性の育児休業取得促進キャンペーン」（育メン・サンキュウ）を実施しており、男性職員を対象に育児に係る休暇（出産補助休暇、産休中育児休業、育児休業「サンキュウ」）を取得した男性職員の所属長等に対し、市長からイクボス奨励賞を授与することとなり、今回、渡邊理学療法士がサンキュウを取得し、関貫院長が「イクボス奨励賞」を受賞しました。

【サンキュウを取得した渡邊理学療法士からのコメント】

私事ではありますが今年の1月に長男が誕生しました。近年男性の育児休業取得も世間で報道されており、私も職場の協力体制のもと約10日間の育児休業を取得しました。「なぜ育児休業を取るの？」などの声も聞かれましたが、理由は育児の経験をしたかったからです。実際におむつ交換・授乳後のゲップ対応・入浴・寝かしつけなど当たり前のことを日々こなし、育児は24時間体制の関わりであり妻のサポートも必要だと思いました。育児休業を終えましたが、引き続き仕事と育児の両立をめざしたいと思います。



第6回地域医療連携カンファレンスを開催しました



平成29年6月30日（金）に、『第6回 高松市民病院地域医療連携カンファレンス』をJRホテルクレメント高松にて開催しました。

特別講演の講師には、徳島大学医歯薬学研究部 呼吸器・膠原病内科学分野の西岡安彦教授をお迎えして、『間質性肺炎治療の最近の話題』の演題についてご講演いただきました。

各種研究会等の多い時期にも関わらず、地域医療機関の先生方、医療職の方にも多数ご参加いただき、また、当院医師、職員を含め合計参加人数が約100名にのぼる盛会となりました。講演終了後の意見交換会におきましても、多くの方々にご参加いただき、有意義な意見交換の場をもつことができました。ご多忙中、ご参加いただきまして、充実した地域医療連携カンファレンスを無事に開催できました。誠にありがとうございました。

今後とも継続して地域医療連携カンファレンスを行って参りたいと考えていますので、何卒よろしく願いいたします。



七夕会

を開催しました



7月5日（水）に毎年恒例となっている“高松市民病院七夕会”を開催しました。

NPO法人ビットバレーの方のギター演奏と歌声に合わせて、玄関ロビーに集まった患者さん達と、「高校3年生」や「リンゴの唄」、「青い山脈」などの懐メロを合唱しました。患者さん達は、自分のお気に入りの曲を次々にリクエストし、唄を口ずさみながら、七夕会のひとときを本当に楽しそうに過ごされていました。誰からともなく手拍子が始まり、いつしか病衣も学生服にさえ見え、そこがまるで「歌声喫茶」のような空間に♪

懐かしい曲とともによみがえる思い出に笑みがこぼれる様子は、会場を心地いい空気に包んでくれました。

患者サービス向上委員会



第53回 地域医療連携セミナーのご案内

- ◆ 日時 平成29年9月20日（水）午後7時から
（1時間半の予定）
 - ◆ 場所 高松市民病院 西館（2F）西会議室
 - ◆ 演題 1 「運動器疾患への最近の取り組み」
整形外科医長 東野 恒作
 - 2 「ブラッシュアップ 神経診察!!」
脳神経外科医長 大北 真哉
- ※ 事前申し込みが必要です
- ◆ 日本医師会生涯教育制度のカリキュラムコード
（62歩行障害、0その他）を取得いただけます。
（申請中）
 - ◆ 当日は軽食をご用意しております。
 - ◆ 一人でも多くの先生方のご出席をお待ちしております。

【お問合せは】 高松市民病院 地域医療連携室
セミナー担当者 まで



平成29年 8月26日（土）
13:00～16:30
高松市民病院

メインステージ

- ♪ こども書道パフォーマンス
 - ♪ 保育園児の歌とダンス
 - ♪ 地元コミュニティの皆さんの優雅な舞
 - ♪ 病院職員出演の小劇場
 - ♪ 小中学生の琉球國祭り太鼓演奏
- 「100万人の花は咲く」
プロジェクトに参加しよう

展示コーナー

- ◆ 新病院建設工事の状況 どこまでできた？
- ◆ 高松市民病院ってどんなところ？
- ◆ 沖縄県八重山病院を紹介♪（交流協力病院）

市民公開講座 14:30～

「尿が近い ～まに合わない～」
泌尿器科 大森 正志 医師

【お問合せは】 高松市民病院 事務局 総務課まで

病院文化祭
& 市民公開講座

売店もあるよ!

『医療・介護関連施設職員研修会』開催

第38回



日 時：5月11日（木）14:00～15:30
テ マ：「皮下埋め込み型ポートについて」
「ポート造設後の管理について」
担 当：副院長 福田 洋
がん化学療法看護認定看護師 塩谷 美由紀
参加人数：23名

第39回

日 時：6月22日（木）14:00～15:00
テ マ：急変時の対応について
担 当：ICLSインストラクター 田原 直美
参加人数：41名



ご参加ありがとうございました

研修会等の年間予定表・申込用紙は病院ホームページからもダウンロードいただけます。
<http://www.takamatsu-municipal-hospital.jp>



…FAX予約をお願いします…



受付時間 平日（月～金）午前 8時30分～午後 6時00分
電 話 (087) 834-2181代表 / (087) 834-2235（紹介予約専用）
F A X (087) 834-2223（直通）
0120-834-224（フリーダイヤル）
※フリーダイヤルは県内固定電話のみ対応しております

患者さんをご紹介いただく際に、地域医療連携室へ事前にFAX予約をお願いいたします。
「高松市民病院FAX診療申込書」をご利用ください。